2006年12月4日　初版第1刷

新基準対応 読解問題

日本語能力試験1級・2級 40日完成

試験に出る読解

別冊

解答
（基本トレーニング／模擬試験で練習／模擬試験）

問題を解くヒント

筒井 由美子／大村 礼子／喜多 民子 著

もくじ

解　答

第1部　基本トレーニング…2

第2部　模擬問題で練習……7

第3部　模擬試験……………20

解答

■第１部　基本トレーニング

1日目　**問題１**　④・⑦　**問題２**　問１：②・⑥　問２：①　問３：①・⑥

問題３　他の国を嫌っている（人が）その国の文化が好きな（人を）

問題を解くヒント

問題１　「私が（店員さんが私に）いろいろ話しかけてくれる店が好き……」

問題２　「ろくな仕事にありつけない貧しい絵描きのダニエルは、親友の医師グランパが思いを寄せるパン屋の女店員フランと　恋に落ちる」

上の、ダニエルとフランについて書かれた連体修飾の文の構造に注目してほしい。

問題３　「自分が嫌いだからといって」の「自分」が、「その国の文化が好きな人」を非難する、という文である。

2日目　**問題１**　問１：③　問２：②

問題２　問１：②　問２：「してはいけない」と言われると「したくなる」

問題３　問１：④　問２：仕事だけでいいのだろうか，夫と子供を持って家庭を築くべきなのではないか

問題を解くヒント

問題１　長男が、（父親が）テーブルの上に置いてあった新聞を手に取った。

問題２　問１　「読んではいけない本」と題した文章を載せたブックガイド

問２　最初の文章の「飲んではいけない」「見ては行けない」「言ってはいけない」というところをまとめた形にするのがベストの答え。

問題３　問１　同年代のビジネスマンにも多くの被害者が出たテロ事件後、バリバリ仕事をこなす女性たち

問２　「仕事だけでいいのだろうか」「夫と子供を持って家庭を築くべきなのではないか」どちらも気持ちの中に入る。

3日目　**問題１**　彼は　雑誌を　買っている

問題２　現代は　企業が　信頼を得る

問題３　情報は　見えてこない

問題４　少女２人が　警察に保護された

問題５　一人一人が　ユニークな服装をし始めると　似たようなファッションに見えてくる

問題を解くヒント

例えば問題１は、次のように文の構造を考える。

SF小説が大好きな彼は、短いSFがたくさん載っている雑誌を、家の近くの小さい本屋で毎月買っている。

4日目　**問題１**　問１：晴れてはいるが、薄い雲が上空にあるような

問２：②　問３：太陽の光が　から　影がなくなる　まで

問題２　消費者の約６割が～

問題３　人々に私が～

問題４　問１：電車の中で～

問２：公共のマナーが軽視されているし、公共の場での人と人との穏やかなふれあいもなくなっている（こと）

問題を解くヒント

問題１　この文章は、①ホワイトアウトがどんなときに起きるか、②ホワイトアウトとはどのような現象か、という順序で書かれていることに注意。

問２　「南極観測の越冬隊に参加した人から教わった」内容は、どこからどこまでなのかを理解する必要がある。

問題２～４　同様の問題。全体の意味を理解しながら、連体修飾関係を読み取ってほしい。

問題４　問２　「そのこと」の内容は文の前半部分にある。電車の中での出来事は、その具体例である。

5日目　**問題１**　②　**問題２**　①　**問題３**　③

問題を解くヒント

問題１　４～５行目「この提言が掲げた目標は悪くない」、５～６行目「だからといって、今すぐ小学校から英語を必修にすべきではない」、７行目「学校で教える内容や教え方は、学校の工夫に任せてはどうだろう」という文から判断できる。

問題 2　最後の文「先生は私たちに何かを伝えたかったのだと思う」から判断できる。
問題 3　5～6行目「事故や病気でけがをしたり死亡したりする……実際に不幸にあう人の割合はわずかである」、9行目「不幸にあった少数の人は、かなりの金額がもらえることになる」というように、保険は、不幸にあう人は少ない、ということが前提のシステムである。

6日目　問題 1　②　問題 2　①　問題 3　アメリカ・日本

問題を解くヒント

問題 1　最初の段落で「どのような知識と技術で生活していくのか、若いうちに考えておく必要がある」と意見を述べており、最後の文で「若者たちは……と漠然と考えている」と現状を書いている。この流れだと、このあとに続くのは「それではいけない」という内容が自然である。
問題 2　6～7行目「ただ、……絶対必要なものなのだろうか（いや、そうではない)。私の考えでは、こうした新しい動きには、……視点が欠けている」というところから、筆者は、「大学とは本来学生が自分で学ぶ場所である」と言いたいことがわかる。
問題 3　日本→有名大学卒業でなかったため、良い仕事に就くことができなかった。
アメリカ→研究が認められ、博士号を受け、仕事も得られた。

7日目　問題 1　④　問題 2　④　問題 3　問1：③　問2：④

問題を解くヒント

問題 1　最後の文「日本は狭い？　それが何？　たとえだれに……これは私の仕事である」というところから、この標語に同感していないことがわかる。
問題 2　「夢を語らない」「想像の域が狭い」「目標も低い」「妥協する方法」など、今の若者に対して不満を感じている。
問題 3　筆者（少年）の気持ちになって読むこと。
捨てられた犬を抱き上げた筆者は「友達の家で飼っている犬を見せられたばかり」→自分も犬を飼いたい、つまりうらやましく思っている。
もう「ポチ、ポチ」と呼んでいた。→もう自分の家で飼っているような気分になっている。

8日目　問題 1　影・光・光　問題 2　大きい　問題 3　②

問題を解くヒント

問題 1　5～6行目「そうする（あたり一面が『光』になってしまい、影がなくなる）と、方向も距離も……まったくわからなくなるのである」→光だけでは物が見えない。
常識的には、もちろん「光」によって物が見えるのだが、この文章で言いたいのは、「光」だけでは物が見えない、ということ。
問題 2　4～5行目「小さいサイズの動物は、逆になる」→大陸のネズミ<島のネズミ
問題 3　「都市（人間）の活動を支えるのは、流通（血液の流れ）である」というように読み取ることができる。

9日目　問題 1　(1)(3)(6)(5)(2)(4)
問題 2　A－②　B－①　C－③
問題 3　A（③）→　B（①）→　C（②）

問題を解くヒント

問題 1　「ところが、……」「ということは……」「それらの……」のような文が前の何を受けているか、考えて並べる。
「～に越したことはない」＝できれば～したほうがいい
問題 2　本文の「しかし、……」「だから、……」「つまり、」などの言葉をヒントにして考える。
Aは「現代人にとって」という言葉とのつながりを考える。
問題 3　①「しかし、本当にそうなのだろうか」　③「おかげで、……いいことずくめだ」の二つの表現がヒントになる。

10日目　問題 1　②　問題 2　①　問題 3　問1：④　問2：③

問題を解くヒント

問題 1　手紙の最初の「○○さま」があて名、最後の名前が差し出し人である。
「先日はすっかりお世話になり、ありがとうございました。」から、お礼の手紙だとわかる。また、「短い時間でたくさんの……」から、観光地を案内してもらったことがわかる。
問題 2　木下さんが新製品を高橋さんに薦めているメール。「ご連絡いただければ、貴社に伺って……」というのは、「行って説明をしたい」と思っていると考えられる。
問題 3　「優先席」とは、公共の乗り物にある「お年寄りや体の不自由な人などが優先的に座れる席」である。そこに「若い人が座っていることが多く、いつも期待はせずに……」とあるので、座っている人が席を譲ってくれることを「期待していない」ことがわかる。

11日目　**問題1**　①　**問題2**　②

問題を解くヒント

問題1　①「60歳以上の人の占める割合」と言っていることに注意する。グラフを見ると、全体の人口が減っている中で60歳以上の人の数はあまり変化がない。したがって、割合が増えていることがわかる。

問題2　「愛着度が最も高いのはスウェーデン」で①②③にしぼられ、「次いでドイツ」で①②にしぼられる。最後の「『移りたい』が最も高いのはアメリカ」で②が答えになる。

解答

■第2部　模擬問題で練習

<短文読解2級>

12日目　**問題1**　1　**問題2**　2　**問題3**　3　**問題4**　1

問題を解くヒント

問題1　「田舎ならではのものを都会に発信していく」… 田舎⇒都会 ←今までとは逆の発想
したがって、今までの発想は、都会⇒田舎 ということになる。

問題2　「大家さんに頼んで……言ってもらった」に注意。
2階の老夫婦　⇒（苦情を言いたい）⇒3階の家族
大家

問題3　Y子…多忙な日々を送っている
↓　時間的にも余裕を持ち、プライベートな時間を楽しんでいる　} 時間の使い方が上手
能力のある人

問題4
2.「一生結婚しない」とは書いていない→×
3.「いずれ結婚するつもり」としか書いていない→×
4. 9割近くが「いずれ結婚するつもり」と答えている→×

13日目　**問題5**　2　**問題6**　2　**問題7**　1

問題を解くヒント

問題5　「大至急と言われると、何とか間に合わせようと必死になる」→「必死になれば、できそうもないこともできる」

問題6　「物を簡単に捨てることはしませんでした」→物を大切にする心を持たなければいけない。

問題7　「田中さんの奥さん、息子さんたちが独立しちゃって」→「うちも早くそうなって……」→「10年はだめ」と言っているので、「だめ」なのは下線部分、息子の独立。

14日目　**問題8**　4　**問題9**　2　**問題10**　問1：1　問2：3

問題を解くヒント

問題8　「かつての静かな趣のある古い城下町」「～が乱立し」「妙に不釣り合いな家」などの表現が、すっかり変わってしまったことに対する期待外(はず)れの気持ち、残念だという気持ちを表している。

問題9　「しかし、このマンションが老朽化したときには……。ヨーロッパの石の建物のように何百年も現役でいることができるのだろうか。(いや、できない)」
この部分に注意！

問題10　問1　この少年は新聞の勧誘の男の言葉に従ったおかげで成功した
→もし従わなかったら成功していない

問2　「新聞はとらなくていいから、その分（お金を）毎月貯金しなさい」「その貯金が役に立った」という部分に注意！

15日目　**問題11**　4　**問題12**　問1：2　問2：4
問題13　問1：4　問2：1

問題を解くヒント

問題11　文には現れないが、「私」が主語。
（私は）母が作ってくれた［お弁当］を思い出しながら
最後の「私もなるべく……」もヒントになる。

問題12　文章が表す全体の様子、状況を理解する必要がある。

問1　あとに続く「ちょうど私と同じ50代半ばのころだ。私はそのころの母の顔……」から、「母」だということがわかる。

問2　あとに続く「自分では両親のどちらにも似ていないと思っていたのに、写真は正直だ」→私は母に似ている

問題13　問1　「……と言っていた」「……というのだ」「……だと」は、ほかから得た情報である。それに対して「なるほどと思った」のは、聞いた本人、つまり筆者。

問2　「叱るには愛情があるが、怒るにあるのは感情だ」に注意！

16日目　**問題14**　問1：4　問2：1　**問題15**　問1：3　問2：4

問題を解くヒント

問題14　問1　前文「方向を判断するときの手がかりになるもの」→目印になるもの

問2　文章の展開を見ると、「私は重度の方向音痴である」に始まり、最後に息子も方向音痴であることがわかる。

問題15　問1　前文「赤ちゃんになりたがる子ども」→子どもが赤ちゃんの役割をしたがる

問2　4～5行目「母親や父親が赤ちゃんをかわいがるのを見て、うらやましくて、自分がその役割をとって」→子どもがペットをうらやましく思っている→自分よりペットのほうが大事にされていると思っている

＜短文読解1級＞

17日目　**問題1**　1　**問題2**　2　**問題3**　4

問題を解くヒント

問題1　「まず『他』を知らなければ『何か』を識別することはできない」がヒント。

問題2　「今の働かない若者たちに関しては……」→「こういうこと」の内容が導き出せる。
「働かなければ食べられなかった時代」になかったこと＝働かない若者がいること

問題3　あとに続く文「何か神秘的な作用があって……と思ったが」→神秘的な作用ではない→「なんだ、そんなことなのか」→単純なこと

18日目　**問題4**　4　**問題5**　3　**問題6**　3

問題を解くヒント

問題4　「効果」という言葉がいい意味で使われていないことに注意！
「効果」の内容＝あとに続く「子供たちの学力は……社会問題を生んだ」

問題5　個人情報保護法の施行→お互い情報を共有できない
└→地域の結びつきを深めることができない

問題6　実験の結果を整理
→｛4歳の子どもは、自分以外の人が思っていることを想像することが可能
　 3歳の子どもは、上記のことがまだできない

19日目　**問題7**　問1：2　問2：4　**問題8**　問1：4　問2：3

問題を解くヒント

問題7　問1　あとに続く文「母親がメソメソしていたら、……」→メソメソする→泣く→悲しい

その本心をかくすため演技する（「笑顔」を見せる）。

問２　「カーテンコールも再演もない」→笑顔の女優を繰り返さない→子どもの病気が再発しない

問題８　問１　文頭「こんな話があるそうだ」→（その話を聞いて）「そんなことをしたら……と思う」→この話を聞いた人が「思う」

問２　この話の内容は「同じ魚ばかりではだめだ」ということ。したがって、２～３行目「天敵のような魚」が必要である→会社に当てはめると、「社風に合わない型破りな人間」が必要

20日目　**問題９**　4　**問題10**　3　**問題11**　2

問題を解くヒント

問題９　６～７行目「チンパンジーの世界では……きわめてまれだという」→異変

問題10　２～３行目「ナイル川の定期的な氾濫……豊かな実りをもたらし」
４～５行目「ナイルの定期的な氾濫はなくなり……止まった」　→ナイルの氾濫

問題11「……もっと気をつかうべきだった」→気をつかわなかったことを後悔している
「そうすれば、自分に対する評価ももっと違ったものになっていた」
→評価が実力より低かったことがわかる

21日目　**問題12**　4　**問題13**　4　**問題14**　2

問題を解くヒント

問題12「そんなに怒鳴らないでよ。……」は、娘が言っている。「（あなたが＝お母さんが）怒鳴ったって（私が＝娘が）言うことを聞くわけじゃない」
この言葉を聞いて「はっとした」のは筆者。「冷静さを失っている自分」というのも筆者である。

問題13　１．妻とローザちゃんのお母さんは、同級生の母親同士→×
２．私の息子と同級生なのはローザちゃんの弟であり、ローザちゃんではない→×
３．ありえない
４．「２」の説明と同じ理由で○

問題14「いや、実は、（娘さんを）奥さんかと思ったんですよ」→娘さんは奥さんに似ている

22日目　**問題１**　問１：３　問２：１　問３：２
問題２　問１：２　問２：１　問３：４

問題を解くヒント

問題１　問１　１．４．肯定の「はい」　２．注意をうながす「はい」
３．応答の「はい」（本文の「はい」と同じ）

問２　「（英語は）日本語とは全く逆になる」と言っているところから判断する。

問３　「はい」には「イエス」には言い換えられない使い方もある。

問題２　問１・問３　「期待に胸を膨らませて待つ」→期待しながら待つことが喜び
→待つ時間がなければ喜びは半減する

問２　病院で待つのは「期待に胸を膨らませて」いるわけではない。

23日目　**問題３**　問１：２　問２：４　問３：３
問題４　問１：１　問２：４　問３：３　問４：２

問題を解くヒント

問題３　問１　「今に始まったことではない」は一つの表現だが、あとに続く文を読めば「昔からあったこと」だということがわかる。

問２　「江戸の園芸技術は世界最高だと……驚嘆した」→「～と、驚いた」という文で、「と」は驚いた内容を表す。したがって、４（言っている内容を表す）と同じ。
１、２、３の「と」は仮定を表している。

問３　１．江戸時代に盛んだったのは西洋風の園芸ではない→×
２．西洋の人に伝えようとしてはいない→×
４．物質的には豊かだったとは書いていない→×

問題４　問１　３行目「しかし、妻に知られたら、『……』と言われるにちがいない」→妻に知られたくない

問２　前段落のA氏のしたことを受けている。

問３　「（A氏の娘は）ベランダからいろいろなものを道路に落として遊ぶのが大好きだ」→娘が道路に落としたと思った

問４　A氏はどうして札束をかくしたのかを考えれば、答えがわかる。

24日目 **問題5** 問1：2　問2：4　問3：2
問題6 問1：3　問2：4　問3：1

問題を解くヒント

問題5 問1　フランス人が「いい」と思っているのは、「迷路」「方向がわからなくなる」「近代的な建物の横に、古いお宮やお寺」「人々の生活のにおい」→問題文の「あてはまらないもの」に注意して、答えを選ぶ。

問2　「〜だけが能じゃない」＝「(一般的にはいいといわれていることだが)、それだけでうまくいくわけではない」
6行目の「これがいいのだそうだ」から、答えが判断できる。

問3　1．パリの路地には発見はない→×
3．困るとは言っていない→×
4．パリの路地がおもしろいとは言っていない→×

問題6 問1　「かつでは大きな木の生い茂る緑の島だったとか（いう話だ）」→「とか」は伝聞の内容を表す。1, 2, 4は、「例示」の「とか」。3「今日用事があるとか（いう話）で」→伝聞の内容

問2　5行目「それ（石像）を海岸まで運ぶために木をどんどん切り倒した」

問3　最後の段落に注意！　イースター島の話は、一つの例であることに気づく必要がある。

<中文読解1級>

25日目 **問題1** 問1：3　問2：4　問3：4　問4：1
問題2 問1：4　問2：4　問3：2　問4：3

問題を解くヒント

問題1 問1　迷っている→奥へ踏み込んでいくことができない→中にある面白い領域に届かない

問2　「その一つひとつを数える」＝「自分への期待を考える」であるが、筆者は「そうしても仕方がない」と言っていて、「馬とひとつになって走ることだけ考える」。過去をふりかえるという記述はないから3は×。

問3　私を100%知っているのは私しかいない
やってきた仕事は自分のもの
苦しんだ経験も自分だけのもの
→「動いてきたからわかる」「動いていけば蓄えられていく」
→仕事を通して積み上げてきた精神的な力

問4　「とにかく目の前のチャンスに一歩足跡をつけよう」「良しあしは後から嫌でも考えられる」から判断できる。

問題2 問1　A（言葉によるやりとり）はB（視線や身ぶりなど）に支えられている→Bがあるからこそ Aがある

問2　1・2・3→人間らしいコミュニケーションの説明→これができるのは4のおかげ

問3　7〜9行目「相手の視線が、相手の心の中の状態……について有力な手がかりを与えてくれる」→目をのぞきこむのは「相手がどう思っているのか」を知りたいとき

問4　最後の文「女性が……目を見て相手の心を読んだりするのが得意」からわかる。

26日目 **問題3** 問1：1　問2：4　問3：2　問4：1
問題4 問1：4　問2：3　問3：2　問4：3　問5：4

問題を解くヒント

問題3 問1　「ついてる」＝ラッキー（lucky）　ラッキーなものは、1である。

問2　9〜10行目「幸運体質型の人は、ものごとを常によいほうに解釈し、あくまでも前向き」

問3　下から6行目「嫌なことは他人のせいにしたり、運のせいにしたり……」

問4　文章全体から、不運体質型は良いことではないと言っている。そこで、最後の文「耳が痛い」は、「自分の欠点を言われている」という意味なので、筆者は自分を不運体質かもしれないと思っていることがわかる。

問題4 問1　文の主語はだれかを考える。

問2　下から5行目「……6年前に廃校になってしまった」

問3　下から4行目以降「廃校が決まった時……校歌を合唱した」

問4　下から7行目以降「……住人の2代目は……ニュータウンから出て行ったのである」

問5　最後の1節から読み取れる。

27日目 **問題5** 問1：1　問2：4　問3：2　問4：4
問題6 問1：3　問2：4　問3：2　問4：1

問題を解くヒント

問題5 問1　あとに続く文で挙げている例から判断できる。選択肢の中から同様の例を選ぶ。

問2　ここまでに挙げられている例が、何を言うための例であるかを考えると、理解できる。

問3　8行目「相手を変えたいのなら、……役割をとらせてみるとよい」

問4　下から5行目の「古典的な恋愛テクニック」と同様、ロールプレイ法を応用しているものを選ぶ。

問題6　問1　ある人が言っているのは「少子化が」から、「……ということが重荷に感じられるのではないか」まで。その中の「自分たちが依存される対象となることへの嫌悪感」が答えとなる。
問2　「働く女性に限ったことではなく、専業主婦であっても同じ」→これが答え
問3　└→政府の働く女性が子育てをしやすいように、という対策は的外れとなる。
問4　最後の段落「最近、成人式における……現れだろう」から判断できる。

<長文読解2級>

28日目　問題1　問1：4　問2：2　問3：3　問4：1　問5：4
問6：4

■問題を解くヒント■
このような、ストーリーがあるエッセーの場合、状況を頭に思い浮かべながら最後まで読み進めてみることが大切。くれぐれも、その部分だけ読んで答えないように。
問1　「火事だ！」というところを読んで実際に火事が起こったと判断してはいけない。少し先まで読めば、本当に火事かどうかまだわかってないことがわかる。
問2　同様に、あとに続く文章を読んで判断することが必要。
問4　あとに続く文から、住民の子供だということがわかる。
問5　主語のない文だが、子供が「次から次へと新しいいたずらを考えては」の例だということを理解しなければならない。
問6　「両親が共働きで、それも夜遅い」とか、「都会の、四角いコンクリート・ジャングル」「遊び相手としては物足りなかったのだろうか」という表現から、総合的に判断できる。

29日目　問題2　問1：4　問2：3　問3：3　問4：1　問5：2
問6：1

■問題を解くヒント■
問1　あとに続く文「何かのレールに乗ることで自然に学力をアップさせてもらう」から、「レールの上を走る」とは、決められた生き方をする、という意味だと判断できる。
問2　前文との関係で、「(基礎学力をつけるということは筋力トレーニングと同じで面白くないが、) それ（＝基礎学力をつけること）をやらなければ学力は上がらない」と理解できる。
問3　前文で挙げられている例「作戦を立てて目標を一つ一つクリアーしていく」から判断できる。
問4　文章半ばの、通信教育についての説明「自分で調べなければならないし、調べることですごく力がつく」の中に述べられている。

問5　下から7行目以降の文（「勉強で大切なのは……大きな差がついてしまいます」）から判断できる。
問6　文章全体において、「主体的に勉強すること」の大切さを述べている。

30日目　問題3　問1：4　問2：3　問3：4　問4：1　問5：4
問6：2

■問題を解くヒント■
問1　最後まで読み、全体のアウトラインを理解してほしい。中ごろまで読めば、最初のコミュニケーションゲームの話が「聞き手にわかりやすく伝える方法」を述べるために書かれていることがわかる。
問2　はじめに「ゲームの説明」がある。→3または4が答え
次に「どうしてうまくいかないか」「どううまくやるか」の順序で述べられている→3が答え
問3　あとに続く説明から判断できる。
問4　「話し手」が「聞き手」の立場に立っていないことが理解できていればわかる。
問5　直前に書かれている説明から、どうすればわかりやすく説明できるかが理解できる。
問6　73頁6行目「また、このゲームの場合……」というところからあと、筆者は「具体的に話すこと」が重要だと言っているところに注目。「犬」とだけ言っても、人が思い浮かべる犬はさまざまであるから、具体的に言わなければならない。ここには、そのための例が入る。

31日目　問題4　問1：4　問2：3　問3：1　問4：3　問5：2
問6：2　問7：1

■問題を解くヒント■
問1　科学者の9割近くや一般の人が信じていること＝「事実は科学の中に存在する」を「そんなこと」で表している。
問2　10行目～11行目「炭酸ガスの増加云々というのは……一つの推論にすぎない」→断定できない
問3　2行前の文「官僚から反論があった」。この官僚に対して「あなた」と言っている。
問4　あとに続く文「おそらく、行政が……可能性があるからです」＝心配である理由
問5　A：「真理だと決め付けてしまうのは怖い」→推論
B：「気温が上がっている」→事実　C：「その原因が炭酸ガス」→推論
問6　ここに「何を事実と考えるか」ということに対する筆者の慎重な態度が表れている。
問7　76頁下から2行目「『科学的事実』と『科学的推論』は別物です」。ここがポイント。

32日目 **問題5** 問1：4　問2：1　問3：1　問4：3　問5：2
問6：1

問題を解くヒント

問1　音程へと操作する→メロディーにする
問2　「口笛が吹けないのはホモだ」というデマが流されていた→懸命になって口笛の練習をした→ホモだと思われたくない
問3　第2段落→歌が歌えない人の中で、医学的な「音痴」以外の人
問4　前段落「ひとつには自転車に乗れなくても泳げなくても人間は生きていけるからである」。
問5　1・3・4はコツとの関連で述べている。
問6　最後の文「テレパシーのようなもので『感じ』を教えることが相互にできたら」。

33日目 **問題6** 問1：4　問2：4　問3：4　問4：4　問5：1

問題を解くヒント

問1　「『鈍さ』というのも立派な才能なのである」を受けて、ウの「そんなことはない、……」が続く。次にアとイのつながりを見ると、ア「こういうときに」はイの「自分で自分にうんざりすることもある」に続く（イ→ア）ことがわかる。
問2　「まわりの人がみんな心配している」→「本人が元気に挨拶する」→「挨拶されたまわりの人がびっくりする」。したがって、「びっくり」するのは「まわりの人」
問3　心配していたのにその必要がなかったことがわかり、力が抜けた様子を表している。
問4　答えは文章全体から判断できる。
問5　「鈍さ」を才能と考える→常識に反する意見。ここから始まっているのは、1。

<長文読解1級>

34日目 **問題1** 問1：4　問2：2　問3：1
問4：(E) 3 (F) 1 (G) 4 (H) 2　問5：3　問6：1

問題を解くヒント

問1　「二重人格者になる」「4人で会話をしている」というのは、「不思議な感覚」の内容であり、事実ではない。そういう気持ちになるのはいつか、という質問なので、(その時々の気持ちによって)「2か国語を使い分けているとき」が答え。
問2　ストレートな表現…「フランス語」　あいまいな表現…「日本語」
問3　このあとの部分に、言語が国民の性格に影響を与えていることが書かれている。
問4　単語の意味を理解すること。

問5　フランス語がはっきり言うときに適していることが、前半に書かれている。
問6　「歯がゆい」の意味がわからなくても、イタリア人ならいらいらすることが想像できる。

35日目 **問題2** 問1：1　問2：4　問3：1　問4：3　問5：2
問6：4

問題を解くヒント

問1　1・2段落のカタカナ語についての説明によれば、「本来の日本語ではない」「ほとんど原語の音をとどめない」「意味も違う」「日本語でもなく、英米語でもない」
問2　10〜11行目「私がそれを理解できるのは……知っているからである」
問3　2・4は昔の中国語からの借用語についての記述。3、本文には「日本語に活力を与えている」とは書かれていない。
15〜17行目「すなわちカタカナ語は、……コミュニケーションに大きな障害をつくりだす」という部分から、1が選べる。
問4　89頁4〜5行目「その強い動機が突然英語国の小学校に入れられた子供にはある」。
問5　（　）の前後から判断できる。「英語を必要としないから、それを習う自覚的動機は弱い」と読み取れる。
問6　最後の4行から判断できる。

36日目 **問題3** 問1：4　問2：2　問3：1　問4：2

問題を解くヒント

問1　「それは誤解もはなはだしい」の「それ」はすぐ前の部分をさしている。
問2　あとに続く文から、「児童の目」は大人のように常識によって曇らされていない、ということがわかる。
問3　15〜17行目「近代人の大人は……直線的に流れてゆくと信じている」。
問4　最後の3行「大人たちが……思いがけない現実を……描きだすのが児童文学なのである」から読み取れる。

37日目 **問題4** 問1：2　問2：2　問3：2　問4：1　問5：3
問6：4

問題を解くヒント

問1　8行目「猫は手を武器にしている……」→猫が手を使うことが書かれている

問2　10行目「犬の場合は手ではなく、前足にすぎない」→足としての機能しかない
問3　板前の手かどうか見る→素質（才能）があるかどうかを見る
問4　「～も無理はない」＝「～は当然のことだ」という意味の表現。知らなくても文脈から「当然のことだ」と言っていることは理解できる。
問5　この文章では「文化を破壊するもの」として文明という言葉を使っている。例として「ボタンをポンと押せばなんでもできる手抜き時代」とある。つまり、便利になって人間が手を使わなくなったことがわかる。
問6　人間が手を使わなくなったことを残念に思っている筆者の気持ちが「人間の手が借りたい」に表れている。

38日目　**問題5**　問1：1　問2：3　問3：2　問4：4　問5：2

問題を解くヒント

問1　最初の部分に注目！
問2　A：「一般的な考えとは違う」という流れなので、「けれども」か「ところが」。
B：前の部分が理由なので「だから」。したがって3が答え。
問3　才能を発揮するなど、前向きの姿勢のときはDNAは「オン」、反対は「オフ」。
問5　本文「能力が、DNAの変化で、突然、現れる」→イ「そういうことがどうしておこるかということ……」と、理由を述べている。さらに「DNAにはオンの状態とオフの状態がある」→本文の「たとえば、身長は……」と続く。

39日目　**問題6**　問1：4　問2：4　問3：3　問4：1　問5：4　問6：2　問7：3

問題を解くヒント

問1　第1段落に自尊心が低い人の説明が述べてある。7～8行目「他人の言うことをそのまま信じる傾向がある」→他人の意見を疑わない
問2　（　　）の前の具体例を（　　）のあとでまとめている。「まとめ」につなげるときの言葉は、「このように」である。
問3　実験説明の最後「自尊心の高低別に、サクラに説得されてしまうパーセンテージを調べた」とあることから判断できる。
問4　5行目「確固とした主義・主張を持たない」、17行目「80％がサクラの言いなりになってしまう」から、説得するのがやさしいことが判断できる。
問5　あとに続く文「説得メッセージに集中させず、ほかのことに気をそらせるようにすると」から判断できる。
問6　文章最後の記述「『わかったような素振り』をしたいと思う」から判断できる。

問7　注意拡散法の応用になっているものを見つけること。

40日目　**問題7**　問1：1　問2：3　問3：1　問4：1　問5：3　問6：3

問題を解くヒント

問1　「それが際だって少ない」「親族からの生体移植が増えた」「海外へ渡って移植を受ける子供が後を絶たない」がこうした状況に含まれる。
問2　11行目「臓器を提供する場合に限って脳死を人の死としている」→3が選べる
問3　14～15行目「A案は……脳死を一律に人の死としたうえで……」。
問4　今の法律とB案（今の枠組みのまま臓器を譲れる年齢を12歳以上に広げる）に適合するものを選ぶ。
問5　（　　）の前に結論のような文があるにもかかわらず、問題が残ると述べていることに注意。
問6　下から6行目以降「今の法律の考え方は……努力をすべきだ。（　　）、子供をどうするかという問題……」から判断できる。

解答
■第３部　模擬試験

＜模擬試験２級＞

問題Ⅰ	1	3	2	1	3	4	4	4	5	1	6	3	7	3
問題Ⅱ	8	3	9	4	10	3	11	4	12	1	13	1	14	4
	15	1	16	3										
問題Ⅲ	17	1	18	1	19	3	20	3	21	2				

＜模擬試験１級＞

問題Ⅰ	1	2	2	2	3	3	4	1	5	1	6	3	7	4
問題Ⅱ	8	1	9	3	10	2	11	2	12	3	13	2	14	3
	15	3	16	2	17	2	18	4	19	2	20	2	21	2
	22	1												
問題Ⅲ	23	2	24	3	25	4	26	3	27	4				